

2026/4/18 (土)
写真クラブ

福井新聞に掲載された桜の画像

吉岡 芳夫

2026/4/6 (月)

越前朝倉糸桜まつりで剣術体験を楽しむ来場者ら
= 5日、福井市の一乗谷朝倉氏遺跡



復原町並で戦国体験

福井・湊

プール跡地と照手・木町
さくら並木通りで開かれ
た。通り沿いの桜のトンネ

員会が毎年開いている。ス
テージでは、コシヒカリを
袋に詰めて重き1キにする

舞台や露店盛況



大勢の花見客らでにぎわった越前湊さくら祭
5日、福井市照手3丁目

2026/4/5 (日)



一乗谷
薄墨桜 (福井市)



福井市の一乗谷朝倉氏遺跡の唐門に寄り添う薄墨桜。満開になって初めての週末はあいにくの空模様で風が強く吹き、大きく枝を揺らしていた。

風になげじと咲き誇る姿と、遺跡を象徴する唐門の「ツーショット」をとらえようと、多くの写真愛好家らが熱心にシャッターを切っていた。

(写真と文・杉本哲大)



桜と共演するこいのぼり = 2日、勝山市の九頭竜川河川敷弁天緑地(山崎彩撮影)

2026/4/5



「桜の馬場」

(福井市手寄2～日之出3)

武士の練習場 住民が復活



ライトアップされた桜 3日、美浜町北西郷公民館



全長2・2kmの帯が春の日差しを受け、薄ピンク色に輝く。福井市の中心部、足羽川の流れに沿って600本の桜並木は「日本AVの産所100選」にも選ばれている。咲き誇る並木を鑑賞したり、写真撮影をしたり。家族連れらの笑顔も満開だった。(文・中村俊介、写真・本社へりて杉本哲夫撮影)



足羽川 桜並木 (福井市)



狐川沿い(社北地区)ドライバー癒やす並木道

福井市社北地区の狐川沿いを走る堤防道路には約1500本の桜並木が続く。速度を落とし、車窓から満開の桜を眺めるドライバーもちらほら。車から降りて写真を撮る人も見られる。観桜期が終わるまで、午後5時～10時にライト

アップされている。

地元のまちづくり団体はフォトコンテストを開催。桜並木を題材にした写真を16日まで募っている。問い合わせは社北公民館。

(文と写真・佐伯晴人、1日撮影) =不定期掲載



2026/4/4 (土)

満開の桜とこいのぼりが共演する「きらめきロード中河」＝3日、鯖江市中野町

こいのぼり そよ風吹かれ 浅水川堤防



ロード中河」で、満開の桜並木をバックにこいのぼり105匹が悠々と泳いでいる。

地元のまちづくり団体が毎年企画している春の風物詩。不用になったこいのぼりを市内外から集め、川の上に取り付けている。

約380区間に桜の木が両岸合わせて68本並び、

る。ぽかぽか陽気となった3日、親子連れらがスマートフォンを手に散策を楽しみ、「天気も良くてきれい」「組み合わせがいい感じ」と歓声を上げた。

地元のイベント「桜まつり」は5日、きらめきロード中河で開かれる。雨の日は中河公民館の体育館が会場となる。
(竹内)

2026/4/4 (土)

菜の花と織りなす美景

✿…鯖江市糺町から杉本町にかけての日野川堤防では、ともに見頃を迎えた薄桃色の桜と黄色の菜の花のじゅうたんが美景を織りなしている。

菜の花は糺町の住民有志グループ「菜の花を楽しむ会」が昨秋に種をまいて管理してきた。取り組みは今年で15年目を迎えた。

3日の昼下がりに家族連れらが柔らかな日の光

日野川堤防沿い

を浴びながら歩いたり、菜の花の甘い匂いを嗅いだりと、思い思いの時間を過ごしていた。桜のアーチの下では窓を開けた車がゆっくりと走り抜け、景色と心地よい春風を満喫していた。

同会の高井昭一さん(82)は「咲き具合は順調。菜の花は摘まずに見て楽しんでほしい」と呼びかけている。

(大久保)



桜の薄桃色と菜の花の黄色が鮮やかな日野川堤防
= 3日、鯖江市杉本町

2026/4/4 (土)



見頃を迎えた山内かぶらの花。満開の桜との共演が楽しめる = 3日、若狭町山内

山内かぶらの花見頃 若狭町、桜と共演

若狭町山内で伝統野菜「山内かぶら」の花が見頃を迎えている。鮮やかな黄色の花々に、県道（上中田烏線）沿いの桜も満開となり、道行く車の車窓を彩っていた。

山内かぶらは濃い味が特徴の白カブの一種。60～90代の地区住民10人でつくる「山内かぶらちゃんの会」を中心に栽培している。同会が運営するカフェ「いっぷく処かぶらちゃん」隣の畑でも、暖かな陽気に誘われ、甘い香りが漂

う花の周りをハチやチョウが飛び交い、春の訪れを告げていた。

「濃い黄色と強い香りが花の特徴。きれいだなって見て、山内かぶらを知ってもらえたら」と同会代表の飛永恭子さん(68)。3月半ばから地区内に点在する計40㍍の畑が次々と満開になり、現在は見頃も終盤に近いという。

6月ごろに刈り取り、収穫した種はマスタードに加工する。(関萌里)

2026/4/3 (金)

ふくい
たけくらべ
だより

たけくらべ広場のしだれ桜

坂井市丸岡町山竹田 4月上旬～中旬見頃

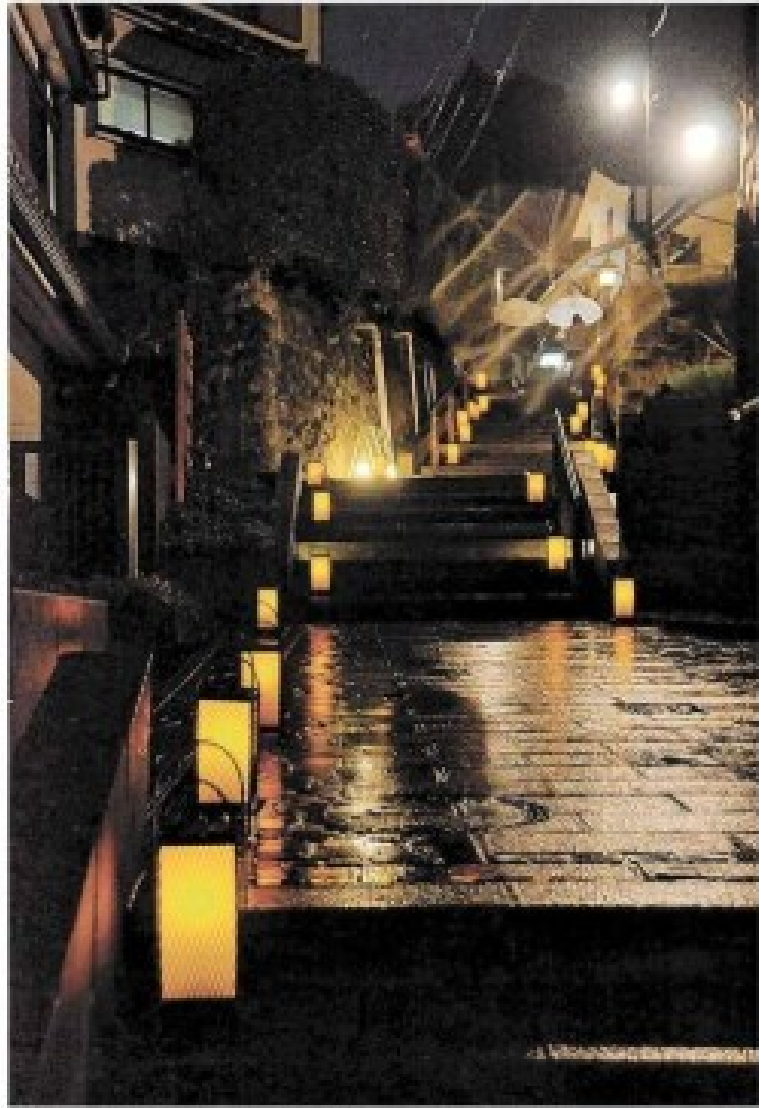


例年の様子

たけくらべ広場では、約180本あるしだれ桜の美しいピンク色の花を見ることができ、広場以外の道路沿いや民家の庭などを含めて地区全体で約700本以上植えられており、あちらこちらで楽しめる。4～18日には「竹田の里しだれ桜まつり」が開催され、ライトアップされた神秘的な世界を見ることができ、(ライトアップは午後6時半～9時)

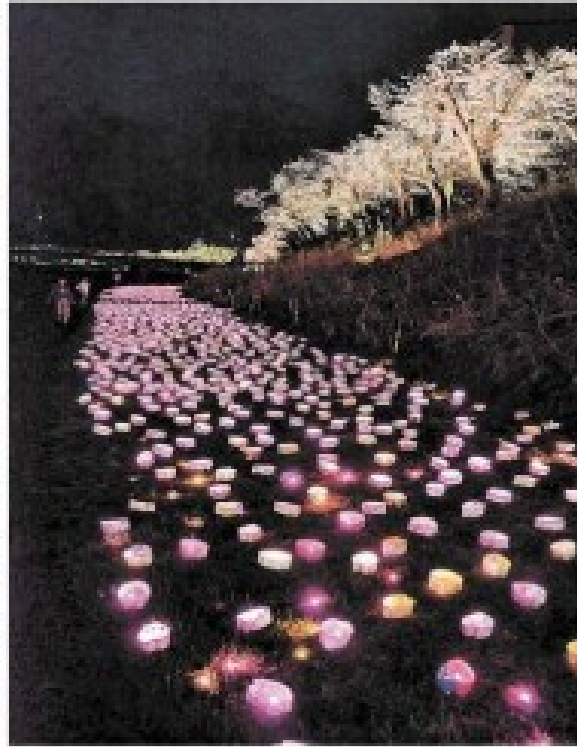
【詳細は県森づくり課ホームページ、問い合わせは県総合グリーンセンター ☎0776(67)0002】

各地でライトアップ



石段に

愛宕坂の石段をあんどんが
柔らかく照らす「灯の回廊」
= 1日、福井市足羽1丁目



河川敷に

「紙さくら」約
4000個が並ぶ
河川敷 = 3月
31日、福井市
毛矢1丁目の
足羽川

日本さくら名所100選の足羽川並木は延長1・5⁺が照らされ、幽玄な桜のトンネルが宵闇に浮かぶ。ほんぼりも設置され、和の彩りを添えている。

泉橋から幸橋までの足羽川左岸河川敷では、市民参加型のライトアップイベント「みんなのでつくる桜のあかりプロジェクト」を展開。LED（発光ダイオード）を取り付けた紙製の桜

色に染まり、通行人の目を楽しませている。湊地区では足羽川右岸の並木通りの桜を青やピンクのライトで照らしている。

ライトアップの多くは、ふくい桜まつり期間の12日まで（あかりプロジェクトは5日まで）。このほか、足羽山公園の花見ぼんぼりや足羽神社のしだれ桜のライトアップは観桜期が終わるまで行っている。

2026/4/3 (金)

堤防に

ライトアップされた足羽川堤防の桜並木
3月31日、福井市毛矢2丁目



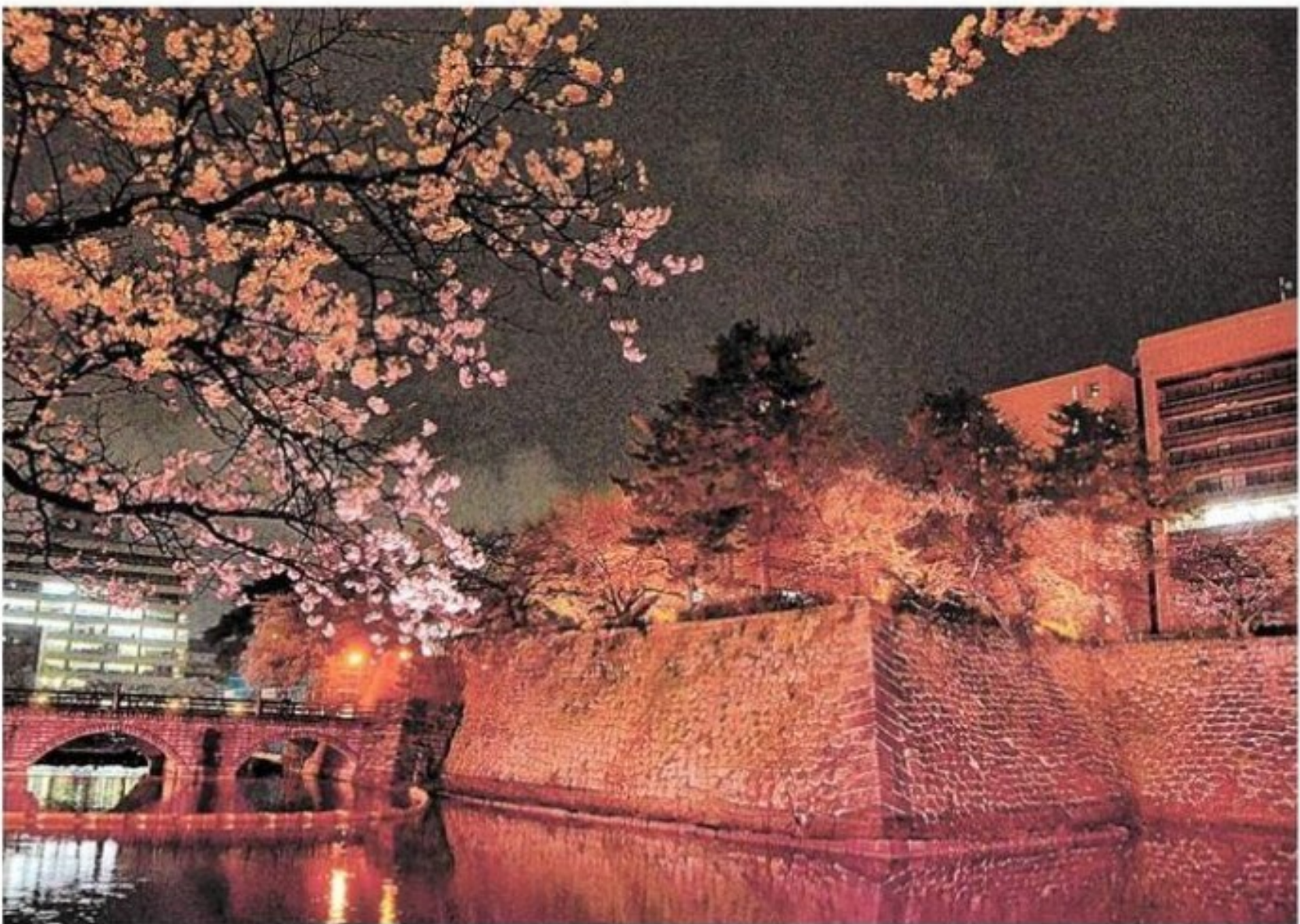


並木通りに

青やピンクのライトで照
らされた湊地区の並木通
り 3月31日、福井市照
手2丁目

城址に

桜色にライトアップさ
れた福井城址Ⅱ1日、
福井市大手3丁目



2026/4/2 (木)

満開の桜を照らすぼんぼり 1日夜、鯖江市西山公園



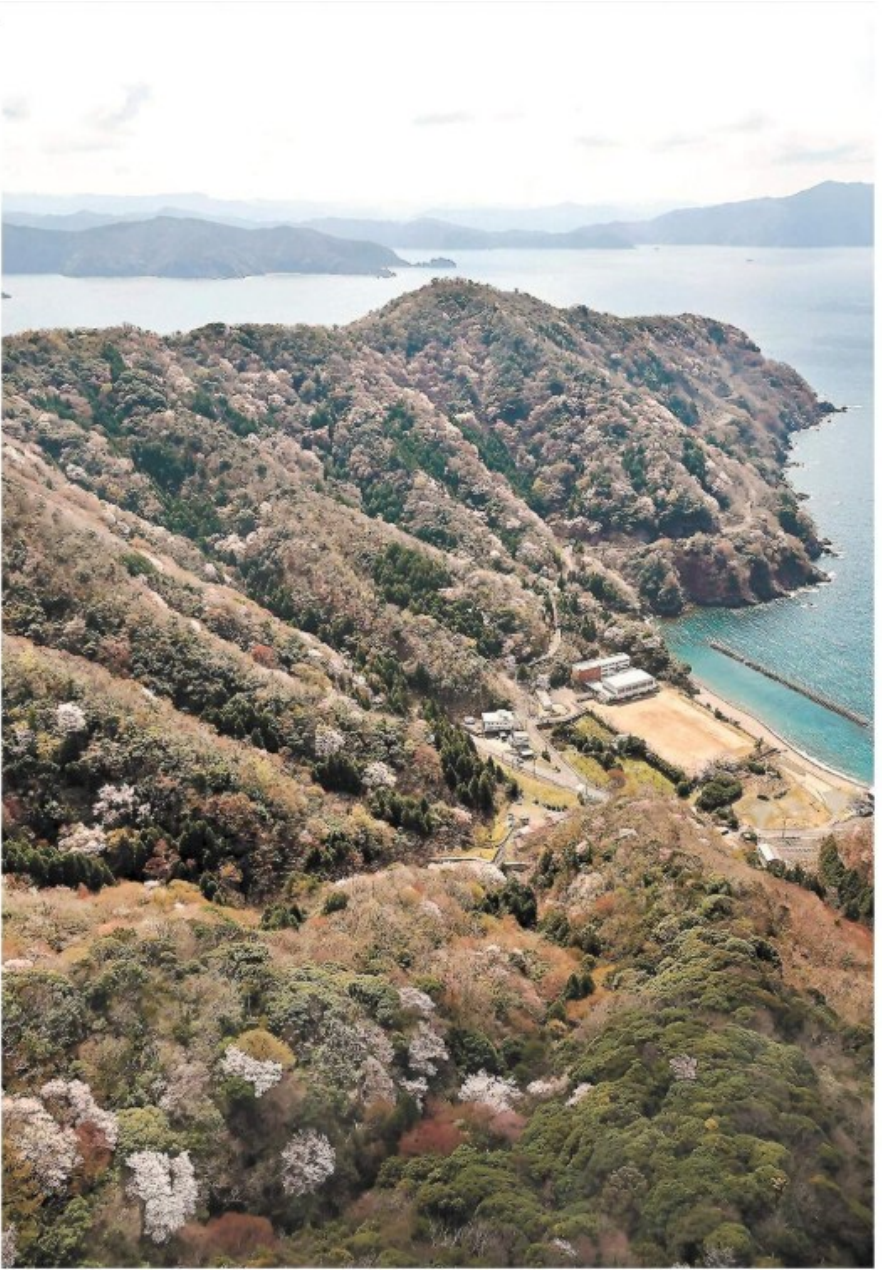
鯖 照らす夢桜夜

現地で点灯式が行われ、同協会の永杉安之会長や佐々木勝久市長、全国コンテスト「女子高生ミスコン2025」でグランプリに輝いた鯖江市の高校2年生なんりさくらがボタンを押すと、ぼんぼりに明かりがともった。

散歩客は足を止め、照らされた夜桜を写真に収めていた。5月20日まで午後6～10時に点灯する。
(酒井瞭一)



見ごろを迎えた「さくら公園」の桜 = 2日、敦賀市
呉羽町



神子の山桜(若狭町)

若狭湾に向け、山肌を淡いピンクが幾筋も流れ込む。若狭町神子の通称「神子の山桜」。常神半島を染

める花の点描は、県の名勝・天然記念物に指定されている。海の青、木々の緑とのコントラストに本社へリ



からしばし見とれた。

(写真と文・杉本哲大)

福井県内は桜シーズンまったが中。刻々と姿を変える各地の風景を写真でスケッチする。

不定期掲載

辺野古転覆死亡受け

国が安全確保通知へ

修学旅行や校外活動関し

沖縄県名護市辺野古沖で

船2隻が転覆し、平和学習のため訪れた同志社国際高

2026/4/2 (木)



安養寺(足羽1) 戦国歴史に`花、添える

足羽山の麓、福井市足羽1丁目の安養寺のシダレザクラが見頃を迎えている。同寺は朝倉氏初代当主の孝景が一乗谷に建立し、室町幕府15代將軍足利義昭が御所とした寺院で、朝倉氏滅亡後、柴田勝家によって現在の場所に再建されたという。歴史ロマンに思



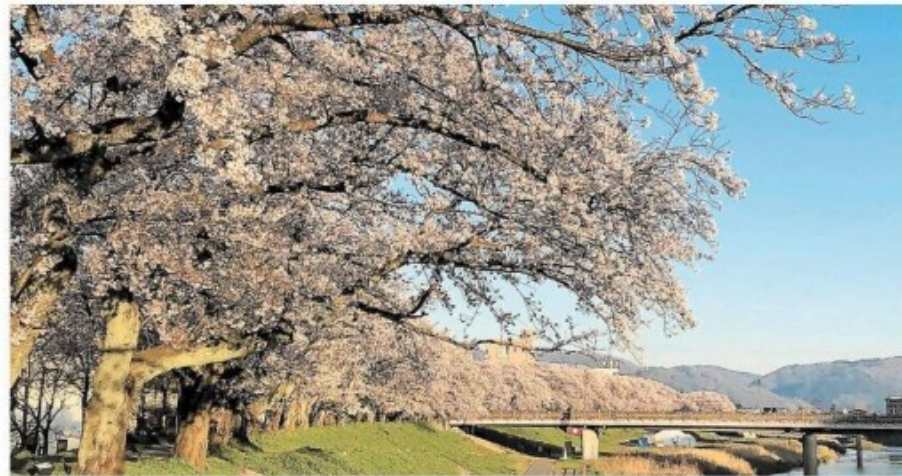
いをはせながら花見が楽しめそう。シダレザクラと観音堂との共演も優美だ。見頃は4月上旬まで。(文と写真・山川竜平、1日撮影)

× × ×

県都の春を彩る風景を各地からレポートする。

=不定期掲載

2026/4/1 (水)



⑩ 足羽川桜並木

戦災、震災の復興祈り

福井市中心部の堤防沿い約2キロに約600本が連なる。現在の桜の多くは戦災、震災からの復興を祈願して1952年の福井復興博覧会を契機に市民の寄付で植樹された。「日本さくら名所100選」に選ばれており、春には幻想的で美しい光景が広がる。

2004年の福井豪雨に



伴う護岸工事で一部は伐採されたものの、市民グループ「ふくい桜守の会」が植樹などを展開。後世に残すための活動を続ける。

きつと千年後も

取材した堅達公治さんのひと言 桜守の会の皆さんのように思いをつないでいけば、きつと千年後も桜並木は花びらをほほ笑むようにゆらしているでしょう。

× × ×

県民が取材して一冊にまとめた県の「ふくい千年文化手帳」を取材者の感想とともに紹介する。

＝ 随時掲載

026/4/1 (火)

枝折れにも負けず満開となったしだれ桜=31日、福井市足羽1丁目の足羽神社(杉本哲大撮影)



枝折れニモ負けず桜満開

福井気象台
開花宣言から2日

桜の古刹で一服を

左内町 妙経寺で寺カフェ

福井市左内町の妙経寺で、桜を見ながら抹茶やコーヒーが楽しめる「寺カフェ」が開かれている。橋本左内をイメージしたブレンドコーヒーや、抹茶と手作りのよもぎ団子のセットなど9種類のメニューがあり、見頃の桜を眺めながら春の訪れを感じることができる。

カフェは2022年から毎年、児玉常昌住職(67)と住職の同級生が開いている。桜は樹齢70年を超えるソメイヨシノ。同寺に統合された善慶寺が左内の菩提寺であることから、「立志桜」

と名付けられ親しまれている。一般的な寿命を超えているため同寺が保全に取り組んでおり、カフェの収益は枝の剪定など長寿命化の費用に充てられる。

30日は暖かな日差しの下、来場者は桜が間近に見える椅子に腰掛けて、ゆったりとしたひとときを過ごした。友人と3人で訪れた越前町の60代女性は「春の陽気の中で桜とお茶を楽しめる、すてきな時間だった」と満足した様子だった。

桜が散るまで午前11時〜午後4時に開く。雨天中

2023/3/31 (火)

桜を見ながら抹茶やコーヒーが楽しめる「寺カフェ」=30日、福井市左内町の妙経寺



国重文の本堂前で糸桜(手前)と紅梅の競演が楽しめる境内＝
30日、坂井市三国町滝谷1丁目の瀧谷寺



紅梅と糸桜 春の競演 坂井・瀧谷寺

国の重要文化財に指定されている坂井市三国町滝谷1丁目の瀧谷寺本堂前で30日、樹齢350年の八重の紅梅と糸桜の競演がみられ、参拝客たちが写真を撮るなど濃淡のピンク色が見せる春の風情を楽しんでいた。

紅梅は2本あり、3月下旬から見頃になった。この日は花びらが風で散る様子も見られ、まもなく終わりを迎えそう。樹齢100年ほどの糸桜は連日の陽気で一気に花が咲き出したという。4月に入ってから満開を迎える見込み。

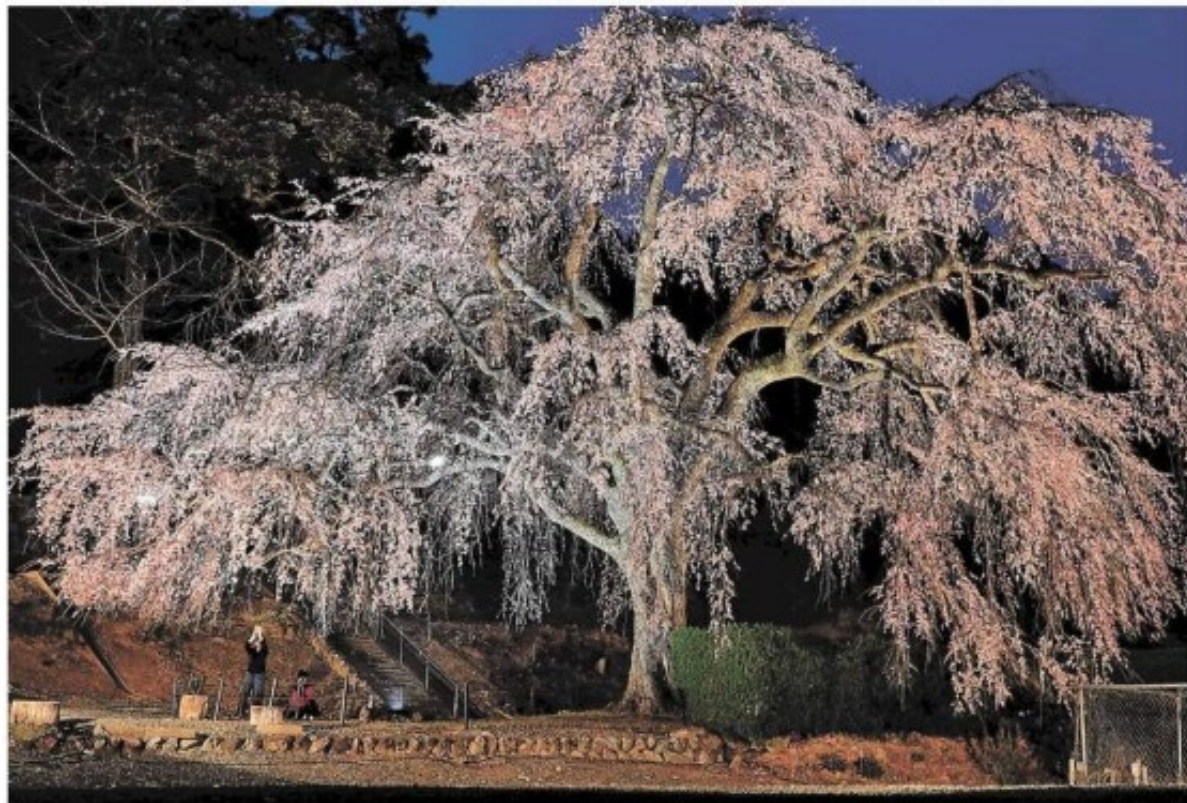
暖かな春の陽光に照らされ、鳥やミツバチが梅や桜の周りを気持ちよさそうに飛んでいた。埼玉県上尾市から家族3人で初めて訪れた江口昌子さん(70)は「寺に古さが残り雰囲気がいい。梅と桜を同時に見られるのはあまりなく、きれいですね」と話した。

境内ではソメイヨシノも一部咲き始め、開花を待つシタレザクラと合わせ順次楽しめる予定。

(荻辰則)

2026/3/30 (月)

ライトアップされた妙祐寺のしだれ桜＝29日、小浜市中井



満開間近 おもてなしも

小浜・妙祐寺 今週末まで見頃



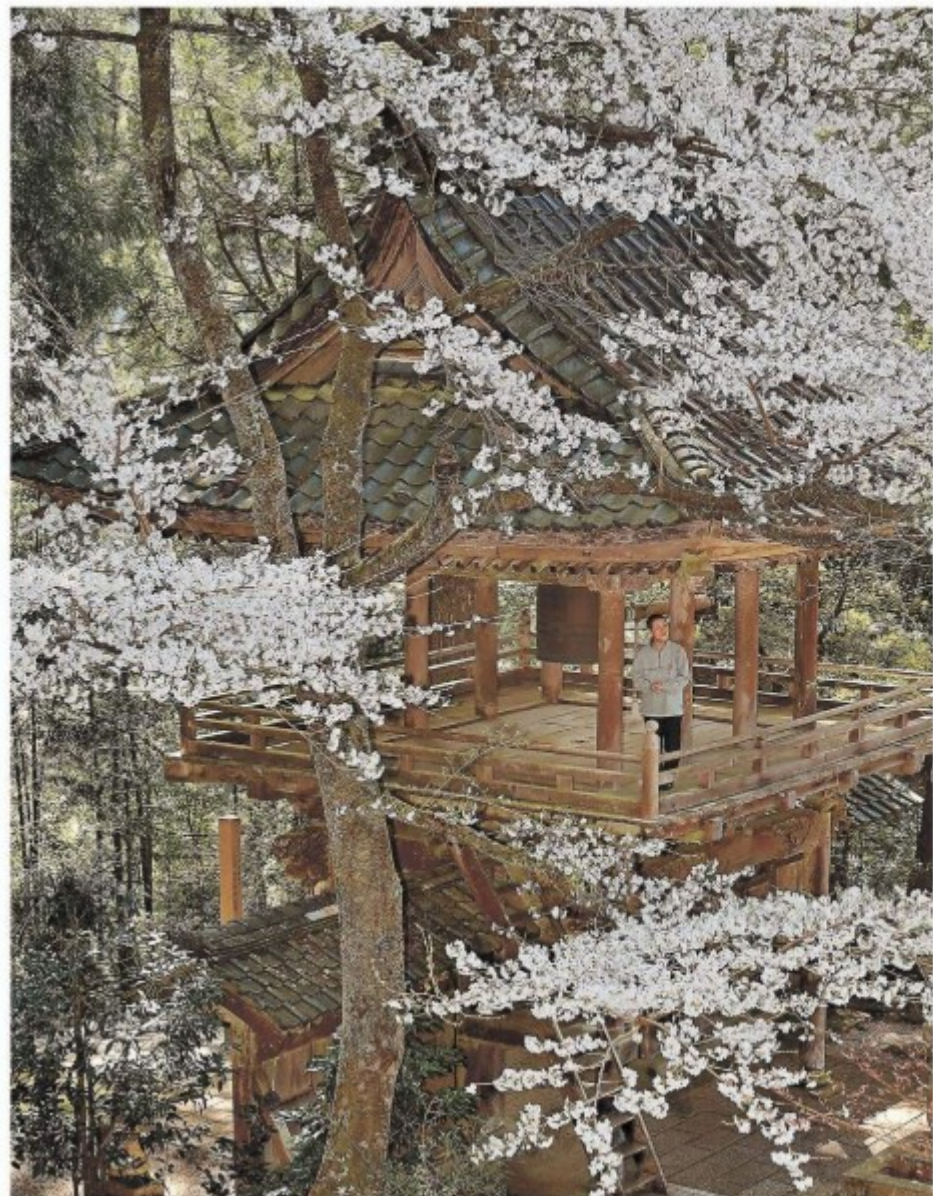
しだれ桜境内彩り

2026/3/30 (月)



満開の花筐桜 29日、越前市五分市町の城福寺

2026/4/7



黒谷観音の名で知られる大野市下黒谷の国生山佛性寺。参道の石段

国生山佛性寺（大野）

を上り、鐘楼門をくぐる
と、満開の桜が迎えてく
れた。

鐘楼門に上ると、静寂
の中で朝日を浴びて咲き
誇る花が目の前に。山里
にようやく訪れた春を感
じる特等席となっている。
（写真と文・杉本哲大）

知事、関電原発視察へ

高浜・大飯・美浜 13、14日、就任後初

県は6日、石田嵩人知事
が関西電力の高浜、大飯、
美浜の3原発を13、14日に
視察すると発表した。石田
知事の県内原発視察は1月
の就任後初めて。立地3町
長とも面談する。

県原子力安全対策課によ
ると、視察は各原発の安全
対策などの確認が目的。13
日に高浜、大飯原発、14日
に美浜原発を訪れる。
4基が40年超運転に入っ
ている高浜で主に長期運転

2026/4/7



福井市赤坂町のガラガラ山キャンプ場ではこの時期、桜のピンク色、日本海の青色、山林の緑色が“共演”する。家族連れは高台にあるコテージで春キャンプを楽しみながら、その眺望を堪能していた。

(文と写真・佐伯晴人、2日撮影) = 不定期掲載

暴風雨耐え、満開

若狭町の
楊貴妃桜



満開となっている楊貴妃桜 = 6日、若狭町関の福乗寺



えちぜん鉄道保田駅（勝山）

桜並木が線路上に迫るほど枝を広げ、車窓を春色に染めた列車が走り抜ける。勝山市鹿谷町保田のえちぜん鉄道保田駅。眺めに誘われ、ホームで降

りて写真に収める人も。残りわずかとなった花時に、穏やかな時間が流れる。

（写真と文・山崎彩）

＝おわり

太陽広場の桜見頃



見頃を迎えているみどりと自然の村太陽広場の桜は8日、越前市安養寺町

越前市白山地区の「春まつり」が12日、同市安養寺町のみどりと自然の村太陽広場で開かれる。園内を彩る約千本の桜は今が見頃で、当日はキッチンカーの出店や桜の植樹などがある。

地域住民らでつくる同施設の運営協議会が主催。園内には広大な芝生広場があり、管理棟付近をメイン会場にクレープやコーヒー、唐揚げなどのキッチンカーが出

店。小さい子ども向けのキックバイクコーナーや輪投げや射的などを設ける。園内約1キロのコースを歩くスタンプラリーも行う。

午前11時～正午には、桜50本を植樹する。参加希望者は11日までに申し込む。

催しは午前10時～午後2時。問い合わせなどは同施設＝☎0778(28)1119。

(児島崇之)



降り注ぐように咲き、見頃を迎えているしだれ桜。8日、坂井市丸岡町山竹田の「たけくらべ広場」

「しだれのシャワー」注ぐ 坂井・竹田で桜766本見頃

しだれ桜の名所、坂井市丸岡町竹田地区で766本が見頃を迎えている。「竹田の里しだれ桜まつり」開催中のたけくらべ広場は8日、平日にもかかわらず、友人や家族連れの花見客でにぎわっていた。同地区は2008年ごろから「千本桜」で誘客しようとして、地区全体に植樹を続けている。まつりは竹田の里づくり協議会、竹田文化共栄会が主催。会場には地元住民らの屋台やキッチンカーが並んでいる。垂れ下がる枝の下はまるで「桜のトンネル」に入り込んだよう。淡いピンクの花々が空から降り注ぐ光景に「シャワーみたい」と感激する花見客もいた。青空にも映え、花見客はレジャーシートやテントを広げくつろぐなど、思い思いに楽しんでいた。

まつりは18日まで。午後6時半～同9時はライトアップしている。

期間中、インスタグラムで地区内で撮った写真のコンテストを開催している。詳細はアカウント「takeda_photocontest」を

(西岡茉愉)



ライトアップされている桜 8日夜、南越前町牧谷

夜桜幻想的 日野川彩る

南越前でライトアップ

南越前町のレインボーパーク南条近くで、桜がライトアップされている。今月中旬まで夕方から午後10時ごろにかけて点灯され、家族連れらを楽しませている。

日野川の堤防沿い500〜600以上に発光ダイオード(LED)の投光器で照らされた約80本が並び、春の夜を幻想的に彩っている。花びらが風に乗ってゆらゆらと散りゆくさまを眺めることもできる。

(酒井瞭一)

境内で見頃を迎えているベニシダレザクラ＝8日、敦賀市常宮の常宮神社



ベニシダレ 参拝客を魅了

敦賀市常宮の常宮神社でベニシダレザクラが見頃を迎えている。大きく垂れ下がった枝の先に咲いたピンク色の花が参拝客を魅了している。同じく満開となったハナモモとの「競演」を今週末、ころまで楽しめる。
(安藤陽介)

敦賀・常宮神社 週末ごろま

ハナモモと「競演」

境内にはしだれ桜やベニシダレザクラが計5、6本植えられている。しだれ桜のピークは過ぎたが、ベニシダレザクラはピンク色の花々が咲き誇っている。ハナモモはかれんな白い花や鮮やかな紅色の花が印象的。ツバキも白や赤の花をつけている。

約40年前、境内に植えられていた松が松くい虫でほ

んど枯れてしまった。その後、参拝客に楽しんでもらおうと、宮本民雄宮司(80)が四季折々の花木を植えていった。消毒や夏場の水やり、剪定など宮司らが丁寧に世話し、春はサクラ、夏はサルズベリ、秋はイチヨウ、冬はウメと二年を通して楽しめる。

8日は平日にも関わらず多くの参拝客が境内を訪

2026/4/18 (土)
写真クラブ

福井新聞に掲載された桜の画像

終わり

吉岡 芳夫